

# 図書館だより

第2号

2015年(平成27年)7月10日発行

いよいよ夏本番となりました。皆様、いかがお過ごしでしょうか。まもなく定期試験もはじまります。ほとんどの新入生の皆さんにとっては初めての大学における定期試験ということになりますね。準備は整いましたでしょうか。実力を十二分に発揮できるよう、祈っております。図書館には落ち着いて勉強に集中できるコーナー(学習室)もあります。是非活用してください。

さて、『図書館だより』第2号をお届けします。日本薬科大学図書館ではこれからも館長以下職員一同、一丸となって、学生諸君、そして研究者の皆様のサポートをすべく、業務に邁進いたします。その道標として、『図書館だより』をお届けし、図書館の活動状況や催し物のお知らせをしていこうと思います。是非活用してください。(船山)

## ■お知らせ

### 《書評コンテストを実施します》

予告していた書評コンテストを実施します。詳細は掲示板かHPをご覧ください。応募締め切りは9月30日(水)午後5時。書評ですから、他の人に薦めたい本をはじめ、読んではみたものの物足りなかった本や、薦めたくない本の紹介もあります。漫画本の書評もOKですよ。ふるってご応募ください。(船山)

### 《やや早朝の夏休み読書会》

図書館には16畳と18畳の2間続きの和室がありますが、この和室を使って「やや早朝の夏休み読書会」なるものを開催します。読書会といつても全く堅苦しいものではありません。和室ですが正座ではなく、足を投げ出しても結構です。館内の本を借りて読書するも良し、定期試験に備えて集中的に勉強するも良し。夏休み中のひと時、ちょっと気分を変えて朝の比較的早い時間にこの読書会に参加してみませんか。責任上、館長が付き合われますが、一緒に読書したり、書き物をされるだけで、何も干渉されることはありません。予定は8月24日(月)~26日(水)で、朝8時から開館してお待ちしております。図書館掲示板、同HPにも掲示してご案内します。(齋藤)



### 《各種アンケートを行っております》

図書館では、利用者の皆さんとの要望、意見を直接伺おうとしております。

一つは、学習環境を向上させるため、館内の机、椅子、その他の備品、照明、空調、館内の利用法などに関する建設的な意見を募集しております。これまでに「机と椅子の組み合わせを大学生の体型に合わせ、良い姿勢で学修できるように改善を。」とのご意見が寄せられ、試行的に館内にあった高さ調節ができる椅子を配置してみました。

また、ブラウジングコーナーにある雑誌の購読希望アンケートも実施しております。来年度の購読雑誌の見直しなどに反映するため、こちらは10月末を締め切りとさせていただいております。

いずれも、館内にアンケート用紙を置いてありますので、皆さんのご意見、ご要望をお聞かせください。(齋藤)

### 《図書館内には飲み物可のコーナーもあります》

これまで、図書館内では飲食を禁止していましたが、試験的に図書館1階のブラウジングコーナー(新聞を置いてある部屋)に限り、飲み物(ソフトドリンクに限ります)をOKとしています。ただし、その場合、汚損防止のため、このコーナーに図書館所蔵の図書を持ち込まないでください。また、食べ物は従来通り禁止、後片付けはしっかりとお願ひいたします。現在のところ、皆さん、マナーを守ってくださっているようですので、当面、続けます。(船山)

### 《ミニお宝展を開催しています》

図書館の受付向側にガラスケースを設置し、図書館に収蔵されている「お宝」、先生方が所有されている「お宝」などを随時展示いたします。次回の展示内容の詳細を裏面「ミニお宝展(第2弾)」に記載しております。(山口・河野)

### 《お茶の水キャンパス図書室より》

登録販売者試験対策書をはじめとする各種資格試験対策書籍や就職活動に役立つ書籍類を随時入荷させています。是非ご利用ください。また、学生の希望図書についても随時受け付けていますので、希望される方は3号館4階キャリア推進室(鈴木)まで申し出てください。(青木・太田・鈴木)

## ■新着図書より

### 《新たに書架に入りました》

新着図書から、丁学長先生と船山教授が書かれた本を紹介します。丁先生の本は、江戸の人々がセルフメディケーションの達人で、お金をかけずに幸せに生きていた健康観について解説されています。船山先生の本は、生活に身近な有機化合物を解かり易く、化学式を理解し易く解説されています。



両先生方の著書のほか、第100回薬剤師国家試験問題解説書などの参考書も入荷しております。(山口・河野)

## ■第2回ミニお宝展

### 《君は日本薬局方初版を見たことがあるか?》

ミニお宝展第2回目として1886年(明治19年)公布の『日本薬局方』初版を展示することにしました。ただし、今回展示するもののひとつはその「復刻版」(写真)です。この「復刻版」は、廣川書店から『第七改正日本薬局方』完成記念として今から50年前の昭和40年(1965年)4月1日に出版されたもの。限定300部(非売品)ですから、これもあまり目にすることが出来ない珍品といえましょう。この本には、(1)『日本薬局方』初版の他、その(2)『日本薬局方』ラテン語訳本、そして、昭和11年(1936年)刊行の(3)『日本薬局方五十年史』の復刻版が一冊にまとめられています。また、別途、『日本薬局方』初版刊行と同年の1886年に民間で出版された、これはオリジナルの(4)『日本薬局方』初版も展示します。その発行者は横浜の書店丸善七(ニ早矢仕有的/はやしゆうてき)、すなわち今の丸善です。

もともと『日本薬局方』初版は「官報第八百九拾四號附録」として明治19年6月25日に公布されたものです。全部で77頁、日本語の薬品索引が4頁、ラテン語の索引が4頁ついているだけで、現在の薬局方と比較するととてもコンパクトです。一方、この『日本薬局方』初版にはラテン語訳本もつくられましたが、これらは明治21年2月13日に内務省衛生局から発行され、横浜の丸善書店から発売されました。これは総クロス表装293頁に目次7頁の堂々たる上製本となっています。いずれもきわめて重要な資料なのですが、現在、その原本はわが国に数冊しか残っていないとのこと。(5)『ファルマシア』2014年10月号の表紙写真にそのうちの1冊(ガムテープで製本し直してある!)の写真が掲載されています。今回のお宝展では、この写真の掲載された『ファルマシア』誌も展示します。



上記の『ファルマシア』に写真が掲載されている『日本薬局方』初版には「平安堂薬局」の印が認められることから、このものはもともと、清水藤太郎博士(東邦大学名誉教授/1886~1976)が経営されていた横浜の平安堂薬局の所蔵だったのでしょうか。清水先生は大著(6)『日本薬學史』(南山堂)の著者でもあります。今回、この本も参考として2冊展示します。そのうちの1冊(7)は贈呈用の特注本(製本が布装)のようで清水先生のサイン入りの本です。この大著は清水先生の薬学博士号の学位論文ともなりました。

以上、(1)~(7)は船山信次教授(図書館長)所蔵のものです。

今回の展示予定期間は7月13日(月)~9月末日の予定です。(山口・河野)

### 《ミニお宝展からのお願い》

今後、ミニお宝展においては、「私の宝物展」や「私の大切な1冊展」も計画しています。そこで、教職員の皆様にお願いです。薬学に少しでも関係あるものなら何でも結構です。「私の宝物」あるいは「私の大切な1冊の書」として持参し、展示してもよいものを募集しています。とりあえずは図書館へ御連絡いただけましたらありがとうございます。今後のミニお宝展へのアイデアやご意見・感想も大歓迎です。(山口・河野)

## ■図書館長のつぶやき(2)

### 《夏休み勉強会の思い出》

毎年、夏になると思い出ことがあります。私がまだ小学校3年生だった夏休みのある一日、近所のお母さんが「朝の勉強会」なるものを自宅で催してくださいましたことがありました。たった一日、近所の子供たち数人に声をかけ、自宅にある食卓などを寄せ集めてのさやかなものでしたが、あの日の充実し、集中できた記憶はその後、長く残るものとなりました。

また、私が大学受験生だったころ、宮城県立図書館の学習室によく通ったものでした。いつも超満員で、寒い日も暖房の利いていない廊下の椅子に列をなしてすわり、入室できるまで何時間も待つようなこともありました。図書館員に「こんなところにいるより、暖かい自分の家で勉強すればいいのに」と皮肉られながらも皆で順番を待ったものです。現在は自宅に快適な個室を持っている子も多いので、ああいうのは過去のことかなと思っていましたが、今年の5月に札幌市立図書館を見学した際、そこにも学習室があって生徒さんたちがひしめいており、入室を待っている子も多くいて、変わっていないんだなあと思いました。

どうやら、私たちは個室に一人で隔離されるよりも、多くの内で孤独となっている方が集中できるときもあるようです。よく、電車の中では読書に集中できるなどというのもそのためかもしれませんね。

本号でも紹介したように、日本薬科大学図書館には16畳と18畳の2間続きで竹林や日本庭園を臨む瀟洒な和室があることから、このたび、この和室を使って、近々「やや早朝の夏休み読書会」を開催いたします。ちょっといつもと変わった環境で読書や勉強の経験をしてみる良い機会かと思います。ふるってご参加ください。

日本薬科大学図書館では皆さんの勉学や研究にお役にたてるよう、これからも種々のイベントを計画してまいります。今後とも、大いに日本薬科大学図書館を活用してくださいますようお願いいたします。(船山信次)

発行:日本薬科大学図書委員会

委員長/船山信次

委員/木村道夫・青木公子・太田友三子

齋藤正・山口涼子・河野利枝・鈴木智恵